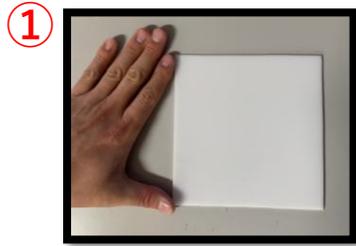


# 短対立スプリント(Thumb spica splint)の作製方法

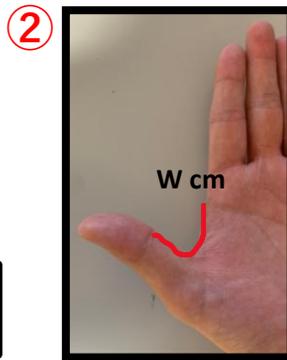
◆目的：母指CM関節、MP関節の**安静**，**保護**，**矯正**

◆対象：母指CM関節症，MP関節側副靭帯損傷，母指指骨骨折など。

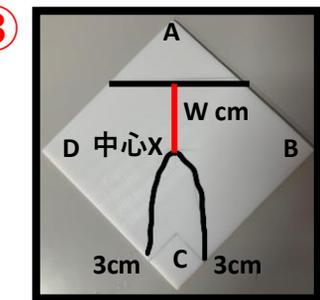
◆利点：掌を包み込むように装着するので，装着感が良い。  
各母指関節の固定性が良い。ADLでも使用しやすい。



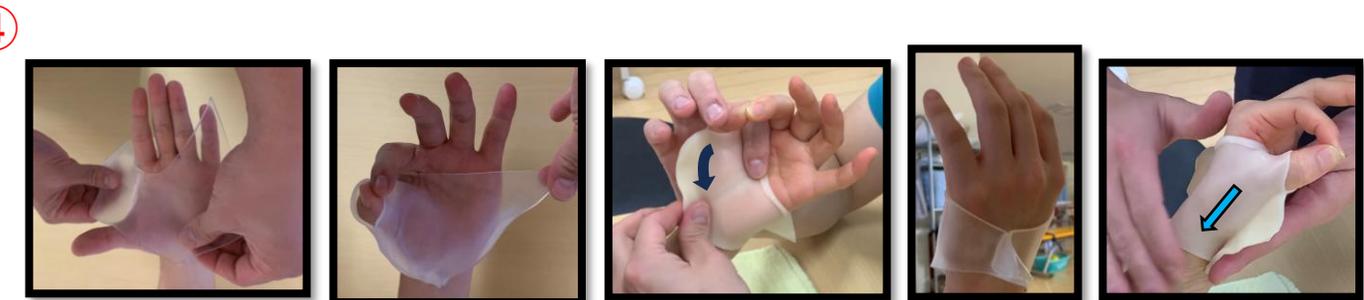
◆母指-示指間の指尖間の距離を測定して，その距離の正方形を作る。



◆母指IP関節皮線から近位手掌皮線の橈側端までを第1指間腔に沿って計測する。(Wcm)



◆シートの角をA,B,C,Dとし，辺BC間，辺CDに角Cから3cmのところをポイントする。  
◆正方形の中心点をXとし，角Cから3cmのところからXに向けてアーチを描く。  
◆中心点Xより角Aに向けた直線上，Wcmのところポイントをつける。  
◆そのポイントを通る対角線BDに平行な実線をかき。  
◆黒線の部分をハサミでカットする。



◆母指を掌側外転位にしてW cmの部分をも指～示指の水かき部に乗せる。  
◆角をゆっくり引っ張り，手背部にまわす。  
◆手背部にまわした角を第3中手骨と第4中手骨間で圧着する。  
◆母指橈背側，母指球皮線をしっかりとモールディングする。



◆母指IP関節を出す線を引く。  
◆手関節皮線に平行となる線を引く。



◆アーチが保たれている。  
◆母指が掌側外転位，対立位になっている。  
◆母指IP関節，示指～小指MP関節，手関節の可動性が制限されない。  
◆3点つまみが容易にできる  
◆局所的な圧迫箇所がない。  
◆装着してずれることがない。